

企業名 (設立日)	GFI株式会社 (2014. 11.)	代表者名	イ・サンソブ (Lee Sangsup)
住所	Korea, Gyeonggi-do, Gimpo-si, Yangchon-eup, 39beon-gil, Hwanggeum 3-ro 20-42		
URL (動画: URL)	https://gfi-aegis.com/en/ 紹介動画		
製品・サービス名	マイクロカプセル&消火システム AEGIS		
起業の動機	<p>「AEGIS」は、ゼウスがアテナに授けた“守りの盾”に由来する技術。</p> <p>有機・無機化学、ポリマー合成、流体制御、環境配慮型技術を融合し、</p> <p>「火災のワクチン」ともいえるAEGISは、災害を根本から防ぎ、人命を守ることを目的とした環境にも優しい革新的な技術で、社会的被害を軽減を目指す。</p>		
製品・サービス紹介	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製品 <ul style="list-style-type: none"> - 既存の消火システムを適用できない「セルユニット火災」に最適化されたモジュール式ソリューション <ul style="list-style-type: none"> ・保護空間の形状に柔軟に対応できるフィルムタイプの消火ソリューション ・ナノプロセスベースの早期火災検出と順次噴射技術により、大規模火災発生防止 - バッテリー火災の早期検知と、それに対する直噴式モジュラー消火ソリューション <ul style="list-style-type: none"> ・ガス検知による即時応答（平均1~3秒以内） ・KIT一体構造による設置面積の最小化 ・発火セルへの直接噴射が可能で、ブロック単位や単一モジュールで精密に制御 ○ ターゲット市場・規模・将来性 <ul style="list-style-type: none"> - 市場背景：EVやESSなどの普及に伴い、電気的要因・製品欠陥による火災が増加。初期消火システムの不在により被害が拡大。 - ターゲット市場：EV・バッテリー設備、ESS（エネルギー貯蔵システム）、データセンター/UPS、高電力産業設備（半導体・AIサーバー）など - 将来性： <ul style="list-style-type: none"> ・世界的なエネルギー投資拡大と再エネ導入の加速 ・ESS市場の急成長（年30%前後） ・データセンター・UPS分野での電気火災防止ソリューション需要増加 ○ 競合優位性、新規性、独創性 <ul style="list-style-type: none"> - カプセル製造から製品開発までの一貫ソリューションを確立し、独自技術による市場支配的な競争力を実現 - 主要消火剤技術により、火災の初期発生源への到達を防止 - カプセル製造から性能試験まで100%自社内製化し、二次電池消防分野での本質的な競争力を確立 → Samsung SDIとの緊密な協力関係により、実装・展開力も強化 - 既存システムでは対応できないセルユニット火災に特化 - 直噴式モジュールによるバッテリー火災の早期検知・初期消火 		

	<ul style="list-style-type: none"> - 電気を使用するすべての分野に対応可能 - 能技術実績：論文発表：2件、特許取得：5件、受賞・認証：14件
製品・サービス イメージ	
<AEGIS消火フィルム>	